

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN104
1	科目名 英語科目名	英会話初級 Basic English Conversation
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年前期 デヴリン・アンソニー(トニー)*
3	授業テーマ・内容	この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題ではリスニングの強化、カルチュラルユニットでは海外の異文化の理解、またペアワークではスピーキングと流暢さを向上するための練習を行います。 カルチュラルユニットのページでは、課題を与えられることがあり、インターネットなどを利用して異文化の習慣等についてリサーチすることが求められます。 各授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを予習していただきます。授業中はできるだけ大きな声で発話してください。会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大切です。この授業では毎回の授業態度が評価の大きなポイントとなります。
4	学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて理解力と自信を向上することができる。 ● 実用的な英会話技能を向上することができる。 ● 日常の場面別により自然で状況にふさわしい会話ができる。
5	履修条件	☆人数制限あり(1クラス30名)

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	“Introductions”	Unit 1, pp. 1-2 Introductions	予) Introductions (2H) 復) Introductions (2H)
第2週	“Introductions” (cont...)	Unit 1, pp. 3-5 Getting to Know You	予) Getting to Know You / Fill in the Blanks (3H) 復) Introductions (3H)
第3週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 1, p. 6 My Story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My Story (2H)
第4週	Various Exercises	Unit 1, pp. 7-8 / Unit 3, p. 1 Role Play	予) Own Role Play / Match the Sentences (2H) 復) Own Role Play (2H)
第5週	“What Do You Do in Your Free Time?”	Unit 3, p. 2 Getting to Know You	予) Fill in the blanks / Getting to Know You (2H) 復) Getting to Know You (2H)
第6週	“What Do You Do in Your Free Time?”	Unit 3, p. 3 Adverbs of frequency	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Adverbs of frequency (2H)
第7週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 3, pp. 4-5 My story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My story (2H)
第8週	Various Exercises	Unit 3, pp. 5-7 Hobbies	予) Match the Sentences / Hobbies (2H) 復) Hobbies (2H)
第9週	“The Good Listener”	Unit 4, pp. 1-3 Do, Does and Wh- questions	予) Do, Does and Wh- questions (2H) 復) Do, Does and Wh- questions (2H)
第10週	“Making A Phone Call”	Unit 5, pp. 1-3 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone conversations (2H)
第11週	“Making A Phone Call” (cont...)	Unit 5, pp. 4-5 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone Conversations (2H)
第12週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 5, pp. 5-6 My Story	予) Getting to Know You (2H) 復) My Story (2H)
第13週	Various Exercises	Unit 5, pp. 8-10 Information Exchange	予) Information Exchange (2H) 復) Information Exchange (2H)
第14週	Time Expressions	Unit 6, pp. 1-2 Time Expressions	予) Time Expressions (3H) 復) Time Expressions (3H)
第15週	Review	Unit 1-6	予) Unit 1-6 (3H) 復) Unit 1-6 (3H)
第16週	Final Exam		

シラバス基本情報

6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:Speak Easy in Daily Conversation; J. Metheny, M. Ed.; Sun Mihall Language Service
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	授業内での会話練習の都度、講師よりフィードバックを提供。試験についてはフィードバック無し。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーションスキル 2-4 生涯学修力
期末試験 筆記試験 レポート試験	40	
授業時間内 試験・演習 授業時間外 レポート 平常点	60	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて理解力と自信を向上することができる。	*	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて、以前よりも理解度と自信を向上することができ、更に英語学習を継続する意欲を得ることができる。	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて、以前よりも理解度と自信を向上することができる。	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいてではないが、一部のスキルにおいて、以前よりも理解度と自信を向上することができる。	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて、以前よりも理解力と自信を向上することができない。
2. 実用的な英会話技能を向上することができる。	*	実用的な英会話技能の向上を実感することができ、更に英語学習を継続する意欲を得ることができる。	実用的な英会話技能を向上することができる。	実用的な英会話技能の向上は実感できないが、英会話に対する苦手意識をなくすることができる。	実用的な英会話技能を向上することができず、英語に対する苦手意識を克服することができない。
3. 日常の場面別により自然で状況にふさわしい会話ができる。	*	事前に設定されている場面以外でも、実生活の中で状況に合わせてふさわしい英会話を実践することができる。	レッスン内で設定された日常の場面別によって、より自然で状況にふさわしい会話ができる。	日常の場面別に状況にあった会話を自然に使いこなすことはできないが、暗記した表現で会話することはできる。	日常の異なる場面ごとにふさわしい英語の会話を使い分けることができない。

* 授業内容を超えた自主的な学修が認められる場合

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN107
1	科目名 英語科目名	日本語のはじまり Japanese, Culture and Anthropology of the World
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年前期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩を学ぶ。アフリカで発生した人類がどのようにして世界に拡散していったかを、アジア民族の祖先であるモンゴロイドを例に学ぶ。また、文学の発生や、漢字の伝来とその定着を通して、古代日本人の考え方や行動を、考古学や文学を題材に学ぶ。
4	学習成果	様々な文化・社会における多様なものの見方・考え方・価値観について理解する。 ものの見方や価値観を形成する環境・文化・社会の力について理解する。 多文化共生社会における文化・社会的状況について理解し、それら状況の対処や取り組みへの姿勢を養う。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	文化と人類	人類にとって文化とは何か	予)文化の定義とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 2 週	人類の誕生と進化①	猿人の誕生	予)霊長類とヒトの違いは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 3 週	人類の誕生と進化②	直立二足歩行	予)直立二足歩行はヒトに何をもたらしたか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 4 週	人類の誕生と進化③	親指の対向性	予)自分の手はどのような構造になっているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 5 週	人類の誕生と進化④	道具の使用	予)道具とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 6 週	モンゴロイドの大移動	原人の脱アフリカ	予)人種とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 7 週	日本人のルーツ①	縄文人	予)縄文時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 8 週	日本人のルーツ②	弥生人	予)弥生時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 9 週	移動と定住	狩猟採集生活と稲作定住生活	予)生活のスタイルはどうか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 10 週	戦争と土地占有	戦争の起源と弥生時代	予)ヒトはなぜ戦争をするのか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 11 週	国占めと国見 -大王の土地占有-	『風土記』に見る土地占有説話	予)土地を占有するためには何をすればよいか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 12 週	無文字と口承 -カタリ <small>カタル</small> の文学	口承文学と漢字の伝来	予)文字を使わずに言葉を伝達する方法は?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 13 週	国生み神話 -日本の始まり-	『古事記』の国生み神話	予)どのような日本神話を知っているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 14 週	古代の死生観① 黄泉国	日本人は「死」をどのように考えているか	予)「死」と「生」の違いは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第 15 週	平常試験		予)試験範囲の復習(3時間) 復)答案の検討(1時間)

シラバス基本情報

6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:随時プリント配布
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	導入として、毎回授業の冒頭で、簡単な課題を提示し、その場で提出してもらう。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験		1-1 課題発見・解決力、論理的思考
筆記試験		1-2 コミュニケーション・スキル
レポート試験		2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	80	
授業時間外 レポート		
平常点	20	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
様々な文化・社会における多様なものの見方・考え方・価値観について知り、受容する。	積極的に自身の経験や社会における例を探し、それらを独自の知見を交えて解釈して客観的に評価できる	自身の経験や社会における例を探し、それらを独自に解釈して客観的に評価できる	自身の経験や社会における例をいくつか探し、それらを自分なりに解釈して客観的に評価できる	助言を受ければ自身の経験や社会における例を探し、それらを解釈して客観的に評価できる	到達目標を達成できていない。
人類の発生のプロセスについて、現在の自身と比較しつつ考察する。	それらについて積極的に調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を自身の肉体と比較して具体的に例を挙げて説明できる。	それらについて調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を自身の肉体と比較して表面的には説明できる。	それらについて調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を自身の肉体と比較して一通りは説明できる。	助言を受ければそれらについて調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を最低限説明できる。	到達目標を達成できていない。
ものの見方や価値観を形成する環境・文化・社会の力についての多様性を発見し、多文化共生社会における文化・社会的状況を対処や取り組みへの姿勢を養う。	多文化共生社会について総合的にとらえることができ、世界や自身のまわりの出来事について、積極的に情報を集め、どう対処すべきか考察し、実践できる。	多文化共生社会について学習したことを基本にとらえることができ、世界や自身のまわりの出来事についてもどう対処すべきか考察し、実践できる。	多文化共生社会について一般的にとらえることができ、世界や自身のまわりの出来事について、どう対処すべきか考察し、実践できる。	多文化共生社会について最低限の知識を持ち、助言を受ければ世界や自身のまわりの出来事について、どう対処すべきか考えることができる。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN115
1	科目名 英語科目名	心理学 Psychology
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年後期 竹江夏生*
3	授業テーマ・内容	人は生きる上で、心のことをおさなりにしてはできない。自分自身の心について洞察を深め、他者の心への感受性を深め、それらを響き合わせようとするのは、生きる上で欠くことのできないものである。この授業では、心について主に臨床心理学的な観点から学びながら、受講生それぞれがこれから送ることになる社会生活において、自らの心と他者の心を共に大切にしながら生きていくことができるための示唆となることを目指す。なお、授業は学生の関心や理解の状況をそのつと踏まえながら柔軟に進めていく。
4	学習成果	<ul style="list-style-type: none"> 心の発達に不可欠な要素について知ることができる。 さまざまな心の病いや障害について知ることができる。 心の深層への関心を深めることができる。 いじめの個人的・集団的要因を知ることができる。 カウンセラーやクライアントの立場に身を置くことで、他者との関わりへの感受性を高めることができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	心理学への導入(1)	ガイダンス、心理学への導入、ものの見方	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 2 週	心理学への導入(2)	心理学のものの見方をさらに深める	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 3 週	発達心理学(1)	「アイデンティティ」について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 4 週	発達心理学(2)	「信頼」について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 5 週	精神病理学(1)	さまざまな心の病いについて	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 6 週	精神病理学(2)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 7 週	深層心理学(1)	無意識、夢、神話について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 8 週	深層心理学(2)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 9 週	コメントにこたえる	心に関する学生からの質問にこたえる	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 10 週	いじめの心理学	いじめについての心理学からの理解	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 11 週	「出会い」の心理学	人と人が出会うということについて	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 12 週	カウンセリング心理学(1)	カウンセラーやクライアントを体験してみる	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 13 週	カウンセリング心理学(2)	前回と同じ	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 14 週	講義のふりかえり(1)	これまでの講義の復習と試験の対策	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 15 週	講義のふりかえり(2)	前回と同じ	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第 16 週	期末試験	これまでの内容の理解を確認する	

シラバス基本情報

6 備考	担当教員は心理学の観点から対人援助を行うカウンセラーとしての実務経験を有する。
7 テキスト・参考書	プリントを配布する。
8 課題・試験・レポート等のフィードバック	授業内外で、全体的また個別的にフィードバックを行っていく。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験	50	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル
授業時間内 試験・演習	50	2-1 チームワーク、自己管理能力
授業時間外 レポート		2-2 倫理観
平常点		2-3 市民としての社会的責任
		2-4 生涯学修力

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
心の発達に不可欠な要素について知ることができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念と、その関連性を説明でき、かつそれらを自らの心の発達に照らし合わせつつ、心理的成長の手掛かりにできる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念と、その関連性を説明でき、かつそれらを自らの心の発達に照らし合わせることができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念と、それらの関連性を説明することができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念を説明することができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念を説明することができない。
さまざまな心の病いや障害について知ることができる。	さまざまな心の病いや障害について精神病理学的な観点から説明することができるとともに、そこから自らの心のありように関連付け、自分自身や他者の心への洞察を深めることができる。	さまざまな心の病いや障害について精神病理学的な観点から説明することができるとともに、そこから自らの心のありように関連付けることができる。	さまざまな心の病いや障害について精神病理学的な観点から説明することができる。	さまざまな心の病いや障害について説明することができる。	さまざまな心の病いや障害について説明することができない。
心の深層への関心を深めることができる。	深層心理学の諸概念を知り、意識と無意識からなるトータルな人間像を説明できるとともに、自らの心の深層と関係づけながら、人間の成長の手掛かりにできる。	深層心理学の諸概念を知り、意識と無意識からなるトータルな人間像を説明できるとともに、自らの心の深層と関係づけることができる。	深層心理学の諸概念を知り、意識と無意識からなるトータルな人間像を説明することができる。	深層心理学の諸概念を説明することができる。	深層心理学の諸概念を説明することができない。
いじめの個人的・集団的要因を知ることができる。	いじめの個人的・集団的要因と、その機序について段階的に説明できるとともに、それを集団場面に洞察的に活かし、よりよい集団づくりに寄与できる。	いじめの個人的・集団的要因と、その機序について段階的に説明できるとともに、それを集団場面に洞察的に活かすことができる。	いじめの個人的・集団的要因と、その機序について段階的に説明することができる。	いじめの個人的・集団的要因を説明することができる。	いじめの個人的・集団的要因を説明することができない。
カウンセラーやクライアントの立場に身を置くことで、他者との関わりへの感受性を高めることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めながら、今後の人間関係において共感的かつ洞察的な関わりへの気づきを得ながら、豊かな対人関係を育むことができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めながら、今後の人間関係において共感的かつ洞察的な関わりへの気づきを得ることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めながら、人間関係への気づきを得ることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めることができない。

*:授業内容を超えた自主的な学修が認められる場合

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN108
1	科目名 英語科目名	社会と経済のしくみ Introduction to Sociology and Economics
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年前期 楠本 哲*
3	授業テーマ・内容	成人として、社会人として、契約行為の主体となり様々な経済活動に関与していく中、現代社会に於ける、経済(お金)が生活に及ぼす影響、生活を取り巻く環境は激変しているのが現状である。 本講義では、経済ニュースの内容をその背景も含めて理解できるように、それらの情報に基づいて、自ら意思決定(判断)が可能となることを目標としている。様々な金融(お金)に関するテーマについて、金融の現場の実態を学び、日常社会で発生している詐欺、投機から自身を守ることができる視点を習得してもらいたい。 なお評価レポートが主体で、試験は行なわないので、基本は出席の上、前向きにレポート等課題を履行することが求められる。
4	学習成果	1. 経済ニュースの内容を理解し、他者に説明することができる。 2. 為替・株式市場取引の仕組みを理解し、自ら判断することができる。 3. 様々な媒体で得た情報から自ら経済問題を分析し対応することができる。 4. 詐欺、投機、投資の違いを見分けることができ、自らを守ることができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	経済(お金の流れ)ってなに?	授業のイントロダクション 単位習得条件	予)シラバスを読み、特に学びたいことを考えてくる(約2時間) 復)関心のある分野について考えて、次回提出(約2時間)
第 2 週	銀行と経済について	銀行と経済の関連(社会のしくみ)	予)新聞、TV 等にて経済ニュースをチェック(約2時間) 復)各銀行口座開設等キャンペーンチラシを比較(合計2時間)
第 3 週	企業と経済について	企業と経済の関連(社会のしくみ)	予)新聞、TV 等にて企業に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 4 週	個人と経済について	個人と経済の関連(社会のしくみ)	予)新聞、TV 等にて個人に係る金融情報をチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 5 週	株式市場について	日本の株式市場のしくみ	予)新聞、TV 等にて株式に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 6 週	為替市場(FX 等)について	外為為替市場のしくみ	予)新聞、TV 等にて為替市場に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 7 週	債券市場について	債券市場のしくみ	予)新聞、TV 等にて債券市場に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 8 週	コンプライアンスと経済について	社会におけるコンプライアンス と経済の関連(しくみ)	予)新聞、TV 等にてコンプラに係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 9 週	身を守るためのツール1	社会、金融機関等で発生する 詐偽事案等	予)新聞、TV 等にて詐偽等に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 10 週	身を守るためのツール2	社会、金融機関等で発生する 不詳事等	予)新聞、TV 等にて不詳事等に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 11 週	身を守るためのツール3	社会、金融機関等で発生する詐偽、 投機、不詳事等に係る事案(総括)	予)新聞、TV 等にて金融に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 12 週	行動経済学の理論について	行動経済学の活用	予)行動経済学に係る情報をチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 13 週	税制と経済について	税制と経済の関連(社会のしくみ)	予)新聞、TV 等にて税金に係るニュースをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 14 週	人生 100 年時代と経済について	人生 100 年時代と経済の関連 (社会のしくみ)	予)各銀行の人生 100 年に関連するチラシをチェック(約2時間) 復)講義中に課したテーマについて考える(約2時間)
第 15 週	総論	全体のふりかえり	予)今までの講義範囲を確認(約2時間) 復)今後の自身の経済活動について考える(約2時間)

シラバス基本情報

6 備考	昭和、平成、令和、40年以上に亘って金融機関で勤めた経験を活かし、実社会における経済(お金の流れ)のしくみについて、学問を超え、現場に携わって来た金融マンの視点にて、社会と経済のしくみを分かり易く講義し、経営、財務、労務等についても、具体的な事例をベースに解説を行う。
7 テキスト・参考書	テキスト:教科書は使用しません。随時、さらに学習を深めたい人向けに参考図書を案内。
8 課題・試験・レポート等のフィードバック	12回目講義で、各自の評価点を伝え、単位修得に向けて、追加の課題レポートの提出を求める予定。優秀なレポートについては、随時、講義中に紹介し、フィードバックを行なうもの。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験	なし	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 2-3 市民としての社会的責任 2-4 生涯学修力
筆記試験 レポート試験	なし	
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート	55	
平常点	15	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 経済ニュースの内容を分かりやすく説明することができる	経済ニュースを説明できるだけでなく、どのような影響がでるかや予測することができる	経済ニュースの内容を説明し、どのような影響がでるかや予測することができる。	経済ニュースの内容を説明することができる。	経済ニュースの用語は説明できるが、内容を解釈することができない	経済ニュースの用語がわからず、内容を説明することができない
2. 為替・株式等市場取引の仕組みを説明することができる	為替・株式等市場取引の仕組みおよびリスクを認識し、将来の予測が行える。	為替・株式等市場取引の仕組みを説明でき、リスクについても認識し、判断できる	為替・株式等市場取引の仕組みを説明することができ、リスクについて認識できる	為替・株式等市場取引の用語は説明できるが、リスクについては認識できない	為替・株式等市場取引の用語を説明できない
3. 様々な媒体で得た情報から経済情勢を分析できる。	様々な媒体で得た情報から社会経済問題を分析し、自分の予測を論理的に説明できる	様々な媒体で得た情報から自ら経済問題を分析し、自分の感想を述べるすることができる。	様々な媒体で得た情報から経済問題を説明することができる。	様々な媒体を利用して経済問題を調べることができる。	様々な媒体で得た情報から経済問題を説明することができない
4. 詐欺、投機、投資の違いを見分けることができるようになる。	詐欺、投機、投資の違いを見分け、説明し、他者に対して啓蒙することができる。	詐欺を見分け、投機と投資の違いを説明し分別することができる。	詐欺を見分けることができ、投機と投資の違いを説明できる。	詐欺を見分けることができるが、投機と投資の違いを説明できない	詐欺を見分けることができない

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN116
1	科目名 英語科目名	経営学 Business Administration
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年前期 齋藤勝洋*
3	授業テーマ・内容	<p>本講義では、企業とは何か、その存立の理由から、企業の組織構造や目的、責任、人的資源管理等、企業経営の基礎的な概念、理論、視点を学んでいく。また、企業経営を取り巻く環境は常に変化するため様々な戦略事例についても多く紹介し、企業が持続的且つ安定的に発展するための、どのように組織をマネジメントしていくかについて学んでいく。</p> <p>また、変化する市場環境の変化を掴むため、マーケティングと事例についても紹介しつつ、毎回の課題を通して自ら考えて最適解を考察する経営的思考力も獲得することを狙っている。</p>
4	学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な経営に関する概念や用語を理解し、それを使って説明できる。 ・経済経営の現象を経営やマーケティングの視点から理解・分析できる。 ・将来の仕事の企業内での位置づけを理解し、効率的活動を考察できる。 ・経営やマーケティングの視点で分析し、自分の視点から考察ができる。 ・考え方、理解を伝え、正しく理解して貰える文章の体裁を取ることができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション 第1章「経営とは何か」	・オリエンテーション・企業経営の面白さ (課題)身近な企業について調べてみよう	予)シラバス確認、履修計画の確認(約2時間) 復)授業内容の確認と学習計画の検討(約2時間)
第2週	第2章「経営学の全体像」	・4つの人間モデルと企業モデル (課題)あなたの人間モデルを考えてみよう	予)第2章を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第3週	第3章「企業と会社」	・会社の構造とその特徴 (課題)貴方はどの会社の株を買いたい?	予)第3章を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第4週	第4章「企業と金融資本・労働市場の関わり」	・金融資本・労働市場とはどのようなものか (課題)貴方は重視する福利厚生は?	予)第4章を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第5週	第5章「企業と製品・サービス市場との関わり」	・製品・サービス市場とはどのようなものか (課題)自分だったら、どうする?	予)第5章後半を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第6週	第6章「競争戦略のマネジメント(Part.1)」	・製品やサービスの提供する価値とは何か (課題)あの商品の本質的価値とは?	予)第6章前半を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第7週	第7章「競争戦略のマネジメント(Part.2)」	・企業の3つの基本的戦略とは何か (課題)スタバとトールの違いは?	予)第7章後半を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第8週	話題提供と学修の整理	(コラム)経営とマーケティングの違い ・第1章から第6章までの学修の整理	予)これまでの学修のポイントを整理(約2時間) 復)学習内容の再確認(約2時間)
第9週	中間試験	第1～8週までの授業内容の筆記試験	予)授業内容の徹底的な整理と理解(約4時間)
第10週	中間返却 第8章「多角化戦略のマネジメント」	・多角化戦略のマネジメントとは何か (課題)企業の多角化事例を探してみよう	予)第8章を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第11週	第9章「国際化のマネジメント」	・グローバル化と国際化の違い (課題)国際化に成功した企業の特徴は?	予)第9章を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第12週	第10章「マクロ組織のマネジメント」	・組織構造変化によるイノベーション (課題)プレイクスルーの事例を探そう	予)第10章を読み込んで予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第13週	第11章「ミクロ組織のマネジメント」	・インセンティブシステムとは何か (課題)今後、重視されるインセンティブは?	予)第11章を読み込み予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第14週	第12章「マーケティング」	・マーケティングとは何か (課題)経営企画をやってみよう	予)事前配布資料を読み込み予習(約2時間) 復)授業内容を整理し復習(約2時間)
第15週	話題提供と学修の整理	(コラム)経営環境の変化と変わらない要素 ・これまでの学修の整理	予)第1章から12章までの概括(約2時間) 復)授業内容の要点を整理(約2時間)
第16週	期末試験	第1～15週までの授業内容の筆記試験	予)授業内容の徹底的な整理と理解(約4時間)

シラバス基本情報

6	備考	・第01週目の授業には、シラバスをプリントアウトし持参して下さい。 ・テキストは毎回、持参すること ・予習・復習を行って理解と興味を深めて授業に挑んで欲しい
7	テキスト・参考書	テキスト:加護野忠男・吉村典久(編)(2021)『1からの経営学<第3版>』碩学社 2,640円 参考書:篠原淳・後藤浩士(2021)『経営学概論』学文社 2,530円 ※その他、適宜、案内や資料配付を行う。
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	毎回、ネットワークを使ったワークがあり、また、レポートも同様にその中で実施する。また、授業や評価への質問等もネットワークを使ってフィードバックするので利用して欲しい。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1:課題発見・解決力、論理的思考 2-1:チームワーク、自己管理能力 2-4:生涯学修力
期末試験 筆記試験 レポート試験	40(期末試験)	
授業時間内 試験・演習	30(中間試験)	
授業時間外 レポート 平常点	30(授業中ワーク)	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
基本的な経営に関する概念や用語を理解し、それを使って説明できる。	評価尺度3に加え、専門用語の意味や目的だけでなく、用語の関係性や背景も正しく理解し、課題について論理的に書いている。	評価尺度2に加え、専門用語の意味や目的を十分に正しく理解し、課題に対して適切な使い方で書いている。	評価尺度1に加え、専門用語の意味や目的を理解し使っており、それを用いて課題について適切に書いている。	専門用語の意味や目的をある程度は理解し使っているが、課題に対して不適切な使い方で書いている。	専門用語の意味や目的を正しく理解せず、または専門用語をほぼ使わず、課題と関係ない内容を書いている。
経済経営の現象を経営やマーケティングの視点から理解分析できる。	評価尺度3に加え、経営やマーケティングの視点を十分に正しく理解しており、課題に対して適切な使い方で論理的に書いている。	評価尺度2に加え、経営やマーケティングの視点を十分に正しく理解しており、課題に対して適切な使い方で書いている。	評価尺度1に加え、経営やマーケティングの視点を理解し書いているが、課題に対して適切な使い方で書いている。	経営やマーケティングの視点を部分的に理解し書いているが、課題に対して不適切な使い方で書いている。	経営やマーケティングの視点を正しく理解しておらず、課題に対しても関係ない内容を書いている。
将来の仕事の企業内での位置づけを理解し、効率的活動を考察できる。	評価尺度3に加え、授業内容を活かして将来の業種や職種を具体的に想定し、組織の役割や機能と関連させて発展させた内容となっている。	評価尺度2に加え、授業内容から将来の業種や職種を具体的に想定し、組織の役割や機能も十分に理解し関連させた内容となっている。	評価尺度1に加え、授業内容から将来の業種や職種を想定し、組織の役割や機能も理解し互いに関連させた内容となっている。	授業内容から将来の業種や職種を部分的に想定し、組織の役割や機能とある程度、関連させた内容となっている。	授業内容から将来の業種や職種を想定できておらず、組織の役割と関連させていない内容となっている。
経営やマーケティングの視点で分析し、自分の視点から考察ができる。	評価尺度3に加え、経営やマーケティングの視点の理解と分析が十分にでき、それを活かして自分で客観的且つ十分な考察ができている。	評価尺度2に加え、経営やマーケティングの視点の理解と分析ができおり、それを自分の分析に加えて十分な考察ができている。	評価尺度1に加え、経営やマーケティングの視点の理解と分析ができおり、それを部分的に活かした自分の分析と考察ができている。	経営やマーケティングの視点の理解と分析がある程度できているが、それを活かした自分の分析と考察ができていない。	経営やマーケティングの視点の理解と分析ができておらず、それを含んだ自分の分析と考察もできていない。
考え方、理解を伝え、正しく理解して貰える文章の体裁を取っている。	評価尺度3に加え、表現や用語が適切で、また、相手に伝えるため推敲ができており、論理的に書かれており、的確に読み取ることができる。	評価尺度2に加え、表現や用語が適切で、また、相手に伝えるため推敲ができており、内容を的確に読み取ることができる。	評価尺度1に加え、表現や用語に間違いがなく、また、相手に伝えるための推敲ができており、内容を読み取ることができる。	表現や用語に間違いが少なく、また、相手に伝えるための推敲が不十分だが内容がある程度は読み取ることができる。	表現や用語に間違いが多く、また、相手に伝えるための推敲が不十分で内容が読み取りにくい。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN110
1	科目名 英語科目名	くらしと法律 Law for Citizen
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年後期 安井聖美*
3	授業テーマ・内容	<p>法律とはどのようなものであり、他の決まりや規則とどのように違うのか、どのように我々のくらしを規律しているのだろうか。</p> <p>法律は、個人の自由を守ってくれており、正義をもって、人々の生活を規律している。これらは日本国憲法により保障されているものであるが、社会を構成する個人は一定の義務も果たさなければならない。</p> <p>義務を伴う法律には、公正性と明確な予測可能性が求められ、三段論法的手法による論理性が必要となる。</p> <p>本授業では、憲法により我々の自由がどのように保障され、刑法や民法では、自由の保障のため、どのような規定があり、どのように運用が行われているかを学ぶ。</p> <p>とりわけ、我々の生活に密接に関係する民法を中心に、権利の主体と契約行為、債務不履行責任と不法行為責任による損害賠償責任の発生等、ケーススタディを用いて、各自の考えを問いや議論を行う。</p> <p>今日、社会のダイバーシティや経済が高度化する中で、家族法や企業法がどのように関与しているかについて学習する。</p> <p>時事問題は法律的な問題を含んでいることが多いため、講義でも随時取り上げる予定である。</p>
4	学習成果	<p>受講生が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、法律の前提となる正義がどのように適用されるか、法律の最低限の基礎知識を習得し、具体的な事象にあってはめるための法的思考を身に付ける。</p> <p><到達目標1> 法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できる。</p> <p><到達目標2> 法律の重要な知識・考え方を理解し説明することができる。</p> <p><到達目標3> タイムリーな社会的事例や事件について、背景となる法理を理解し説明することができる。</p> <p><到達目標4> 具体的な事象に対し、法的思考に基づいて、自分なりの結論を導くことができる。</p>
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習(毎回各 2 時間 計 4 時間ずつ)
第 1 週	オリエンテーション/法の基本概念	我々を取り巻く法律についてどのような意味があるか理解する。	予)シラバスを読む。 復)法の強制力と機能について、講義で習ったことをまとめる。
第 2 週	憲法	憲法の基本原則(何か、個人の尊厳の意義と内容)について確認する。	予)日本国憲法の前文と憲法13条を読む。 復)日本国憲法における個人の自由の意義とその内容について理解する。
第 3 週	刑法	刑法の基本原則である罪刑法定主義(構成要件該当性と違法性の内容、刑罰の適用)について、理解する。	予)刑法のレジュメ事前配布を読みおく。 復)罪刑法定主義の基礎となる構成要件と違法性について理解する。
第 4 週	民法総則①	民法の基本原則(何か、権利能力と法人の意義)について確認する。	予)テキスト「民法演習サブノート」第1問から第10問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、民法の基本原則・権利能力・法人の意義を理解する。
第 5 週	民法総則②	法律行為と法律効果の関係について確認する。意思表示の重要性とその欠缺のケースを学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第11問から第21問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、法律行為と意思表示の内容と関連性をまとめる。
第 6 週	民法総則③	代理の基本原則と諸問題(無権代理・表見代理)について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第22問から第35問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、実社会での様々な代理のケースを検討する。
第 7 週	物権	物権とは何か、物権変動の公示と抗要件、担保物権(意義、範囲、質権、低抵当権)について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第36問から第70問の問題を読む。 復)物権の意義と抗要件、担保物権の様式の違いについてまとめる。
第 8 週	債権総論①	債権・債務の基本的な内容と付随義務について確認し、履行されない場合の責任について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第71問から第84問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、債権債務の本質と付随義務についてまとめる。
第 9 週	債権総論②	債務が履行されないケースと履行の強制のための法的手段(保証)について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第85問から第107問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、債務不履行責任と保証についてまとめる。
第 10 週	契約 ①	契約に関する基本事項(成立要件)、同時履行の抗弁権について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第108問から第119問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、契約の成立要件と同時履行の抗弁権を整理する。
第 11 週	契約 ②	財産の譲渡と利用(贈与・貸借)と役務提供(請負)に関する契約について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第120問から第140問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、売買・贈与・貸借・委任・請負について整理する。
第 12 週	不法行為 ①	不法行為の内容と不法行為責任、事務管理と不当利得について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第141問から第150問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、不法行為責任と事務管理、不当利得についてまとめる。
第 13 週	不法行為 ②	不法行為による損害賠償責任の意義と範囲をまとめる。	予)テキスト「民法演習サブノート」第151問から第175問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、損害賠償に関する基本事項についてまとめる。
第 14 週	家族法(親族・相続)	法定相続の必要性、遺言と遺産分割について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第176問から第210問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、相続に関する基本事項をまとめる。
第 15 週	まとめ/課題	講義で行った重要事項の理解を確認する。今後、講義で習った民法の基本事項をどのように利用するかをまとめる。	予)講義で学んだ重要キーワードと基本事項を理解し、法的思考を整理する。 復)演習全体を復習し、法的思考による法的結論を身に付ける。

シラバス基本情報

6	備考	学生が今後の人生に役立つ法律の基本知識と法的思考を身に付けられることを重要視し、実務教員として、現代のビジネス実務についても講義に毎回反映する。 講義に出席した際、講師から質問された事柄に自分の意見を理由をもって答えられるようにすること。
7	テキスト・参考書	テキスト:「民法演習サブノート210問」沖野真己 + 窪田充見 + 佐久間毅編著 弘文堂
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	授業内に行う課題については、講義内でポイントを解説および講評を行う。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験		2-2 倫理観
筆記試験		2-3 市民としての社会的責任
レポート試験		2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	40	
授業時間外 レポート	30	
平常点	30	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 法律が暮らしにおいてどのような位置づけがあるか、理解できる。	法律が、他の社会的規範(道徳、宗教、文化、マナー等)と異なる点を、個人の自由の保障の観点から明確に、授業内容を越えた政治学、社会学等の観点も踏まえて説明できる。	法律が、他の社会的規範(道徳、宗教、文化、マナー等)とどの様に異なるかを、個人の自由の保障の観点から明確に説明できる。	法律が他の社会規範(道徳、宗教、文化、マナー等)とどの様に異なるのかを説明できる。	法律が道徳とどの点で異なるのかを説明できる。	法律が道徳とどの点で異なるのかを説明できない。
2. 法律の重要な知識・考え方を理解し説明することができる。	①権利と義務の関係 ②法律の基本原則 ③重要な法理、 ④各法理における要件効果について全て説明することができる。	左記の①から④のうち、4つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、3つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2つ以上の項目を説明することができない。
3. タイムリーな社会的事例や事件について、背景となる法理を理解し説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、①どの法律の②どの規範が当てはめられ、③どのような点が問題となっているかを説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、左記の①から③のうち、3つの項目を不完全ながらも説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、左記の①から③のうち2つの項目を不完全ながらも説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、左記の①から③のどれかの項目を不完全ながらも説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件を法的に説明することができない。
4. 具体的な事象に対し、法的思考に基づいて、自分なりの結論を導くことができる。	具体的事象を①法律要件にあてはめ、②法律の三段論法に従い、③法律上の結論を導き、④具体的事例についての自らの結論を説明することができる。	左記の①から④のうち、4つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、3つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2つ以上の項目を説明することができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN114
1	科目名 英語科目名	生物学 Biology
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年前期 山本慎太郎*
3	授業テーマ・内容	今般、日常や職業上の生活の中で、生物学の知識をもとにした判断や評価を迫られる機会は日々増えつつある。この講義では、生物学という大きな学問分野の全体を可能な限り概観し、今後の生活・業務の中で必要となる生物学の考え方と知識とを身につけ、さらにはこれを基礎として将来にわたって生物学やその周辺にかかわる知識をアップデートしていく能力の獲得を目指す。そのために、現代生物学全体の背景をなす進化の理論を中心に、分子生物学・生態学・発生学・神経生理学などのトピックを紹介し、これを周辺諸分野との関係の中にも位置づけながら論じていく。
4	学習成果	1. 進化の理論について遺伝子の観点から把握し、必要に応じて応用できる。 2. 生物学の諸分野の考え方を把握し、日常接するそれらのトピックについて理解できる。 3. 上記の知識や考え方をもとに、将来にわたり、必要に応じて生物学についての知識を適宜に更新していくことができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	生物学を概観する	生物学がなにを扱う学問かを論じる	予)シラバスをもとに既習知識を整理(2時間) 復)配布資料をもとに理解を深めておく(2時間)
第2週	進化とはなにか・系統樹	進化理論の基礎と系統樹の考え方を論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理、(2時間)
第3週	進化をもたらす分子	遺伝現象及び遺伝子の分子の実態を見る	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第4週	突然変異と浮動、淘汰	遺伝に生じる変動について説明する	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第5週	遺伝子に書かれた歴史1	現実に観察された生物集団の遺伝子の変化と分子進化について論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第6週	遺伝子に書かれた歴史2	進化と適応、および眼の進化について論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第7週	種の起源、共生、絶滅	生物の生態・系統、分類について進化の観点から論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理、課題提出(2時間)
第8週	パンデミックと大規模データ解析、進化医学	進化学説の医療への応用や大規模データ解析の近年の進展を見ていく	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第9週	再生医療	細胞工学の一例として再生医療技術を紹介する	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理、課題提出(2時間)
第10週	生物の模様・形態と数理1	生物の模様や形態の分子的・数理的背景について論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第11週	生物の模様・形態と数理2	生物の模様や形態の分子的・数理的背景について論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理、課題提出(2時間)
第12週	色彩の生物学	網膜神経の色彩情報処理について論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第13週	もののかたちの視覚情報処理	ものの形状の認知を可能とする神経回路について論じる	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理、課題提出(2時間)
第14週	神経回路とパーセプトロンモデル	神経の機能をもとにニューラルネットワークの考え方を理解する	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理、課題提出(2時間)
第15週	深層学習、ソフトロボットと物理リザーバー計算	ニューラルネットワークなどの理論の近年の展開について見ていく	予)生物に関する報道等への興味を検討(2時間) 復)配布資料の検討、整理(2時間)
第16週	期末試験(レポート試験)		

シラバス基本情報

6 備考	各回課題等の提出は学内共有フォルダを用いる
7 テキスト・参考書	参考図書・文献は講義中で適宜紹介する。
8 課題・試験・レポート等のフィードバック	各回提出の課題、および授業内容や課題への質問について、目を引くものを中心に授業時間内で紹介し、講評を加える。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験 筆記試験 レポート試験	40	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 4-1 数学・自然科学
授業時間内 試験・演習 授業時間外 レポート 平常点	60	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 進化の理論について遺伝子の観点から把握し、必要に応じて応用できる。	進化史・生物学上の、メカニズムが未知の事象を例示し、そのメカニズムを推定して的確に論述できる。	授業内容に含まれない進化・生物学史上の既知の事象を例示し、そのメカニズムを的確に説明できる。	授業内で紹介した進化史・生物学上の事象を例示し、そのメカニズムを的確に説明できる。	授業内で紹介した進化史・生物学上の事象を例示できる。	授業内で紹介した進化史・生物学上の事象を例示できない。
2. 生物学の諸分野の考え方を把握し、日常接するそれらのトピックについて理解できる。	自身の生活や職能に関わる生物学上の未知の領域について認識し、解明に必要な研究事項を構想できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを出版物や報道記事などから適切に選択・説明し、自身の生活や職能との関係を把握できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを出版物や報道記事などから適切に選択し、説明できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを出版物や報道記事などから適切に選択できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを適切に選択できない。
3. 上記の知識や考え方をもとに、将来にわたり、必要に応じて生物学についての知識を適宜に更新していくことができる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得て、その確かさを評価し、未知の事柄を説明できる新規な生物学上の理論を理解できる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得て、その確かさを評価し、何が未知なのかを指摘できる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得て、その確かさを評価できる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得ることができる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得ることができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN111
1	科目名 英語科目名	地球環境論 Natural Environmental Science
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年後期 小川英典*
3	授業テーマ・内容	本講義「地球環境論」では、まずガイダンスを通じて授業の目的や進め方を確認し、自然科学の基礎と地球システムの構造・相互作用を学びます。次に、地球内部のしくみ、大気と気候、物質循環の現状を理解し、生態系や生物多様性の保全について考察します。また、地球人口の爆発、資源・エネルギー問題、大気の変異、水質汚濁と土壌汚染、食品と環境の関係、化学物質やプラスチック利用の環境影響、廃棄物問題とリサイクル、経済活動と環境政策など、多角的な視点から地球環境の現状と課題を検討します。最後に総合復習と統合討論を行い、持続可能な社会への理解を深めます。
4	学習成果	1. 基礎知識の習得:自然科学の原理、地球システム、内部構造や大気・気候の基本概念を理解できる。 2. 現象の分析力向上:物質循環、生態系、生物多様性、人口動態などを論理的に分析できる。 3. 環境問題の理解:資源・エネルギー問題、大気変異、水質・土壌汚染、食品環境など多角的な課題を把握できる。 4. 影響評価と考察力:化学物質、プラスチック利用、廃棄物・リサイクル、経済と環境の相互関係を評価し考察できる。 5. 統合的議論力:各テーマの知識を総合し、統合討論を通して持続可能な解決策を提案できる。
5	履修条件	なし

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	コース概要、学習目的、全体構成の説明	予)テキスト第1章を熟読 (2時間) 復)テキスト第1章の演習問題 (2時間)
第2週	自然科学の基礎と地球システム	自然科学の基本法則 地球システムの構造と相互作用	予)テキスト第2・3章を熟読 (2時間) 復)テキスト第2・3章の演習問題 (2時間)
第3週	地球環境と内部のしくみ	地球環境の観察と評価 地球内部の構造・働きの解説	予)テキスト第4・5章を熟読 (2時間) 復)テキスト第4・5章の演習問題 (2時間)
第4週	地球の大気と気候	大気の組成と流れ 気候変動のメカニズム	予)テキスト第6章を熟読 (2時間) 復)テキスト第6章の演習問題 (2時間)
第5週	地球の物質循環	自然界の物質循環とエネルギーの流れ	予)テキスト第7章を熟読 (2時間) 復)テキスト第7章の演習問題 (2時間)
第6週	生態系と生物多様性	生態系の機能と構造 生物多様性の重要性	予)テキスト第8・9章を熟読 (2時間) 復)テキスト第8・9章の演習問題 (2時間)
第7週	地球人口の爆発と人口統計学	人口増加の現状と影響 基本的な人口統計学	予)テキスト第10章を熟読 (2時間) 復)テキスト第10章の演習問題 (2時間)
第8週	地球上の資源と資源・エネルギー問題	地球資源の分布と利用状況 エネルギー需給と環境課題	予)テキスト第11・12章を熟読 (2時間) 復)テキスト第11・12章の演習問題 (2時間)
第9週	地球大気の変異	異常気象や大気汚染の兆候	予)テキスト第13章を熟読 (2時間) 復)テキスト第13章の演習問題 (2時間)
第10週	水質汚濁と土壌汚染	水質・土壌の汚染現状と原因、対策	予)テキスト第14章を熟読 (2時間) 復)テキスト第14章の演習問題 (2時間)
第11週	食品と環境	食品生産の環境負荷と持続可能性	予)テキスト第15章を熟読 (2時間) 復)テキスト第15章の演習問題 (2時間)
第12週	「化学」と環境とプラスチックの利用	化学物質の環境影響 プラスチック利用の現状と課題	予)テキスト第16・17章を熟読 (2時間) 復)テキスト第16・17章の演習問題 (2時間)
第13週	廃棄物問題とリサイクル	廃棄物発生の実態とリサイクル技術	予)テキスト第18章を熟読 (2時間) 復)テキスト第18章の演習問題 (2時間)
第14週	「経済」と環境	環境経済学の基礎 経済活動と環境政策の関係	予)テキスト第19章を熟読 (2時間) 復)テキスト第19章の演習問題 (2時間)
第15週	総合復習と統合討論	グループ討論で統合的理解を深める	予)テキスト第1-19章を熟読 (2時間) 復)テキスト第1-19章の演習問題 (2時間)

シラバス基本情報

6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト：地球環境論 山崎 友紀 著 講談社
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	授業中の課題は、出来るだけ時間内に解説する。達成状況に応じ全体または個別にフィードバックを加える。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験		1-1 課題発見・解決力、論理的思考
筆記試験		2-2 倫理観
レポート試験		2-3 市民としての社会的責任
授業時間内 試験・演習	50	4-2 工学一般
授業時間外 レポート	30	
平常点	20	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
基礎知識の習得：自然科学の原理、地球システム、内部構造や大気・気候の基本概念を理解できる。	各概念を詳細に説明し、関連現象や実例を交えて論理的に解説できる。	主要な原理と概念を正確に理解し、標準的な問題に対して十分な説明ができる。	基礎的な概念を概ね把握しており、基本的な説明が可能だが、応用や深い解説に課題がある。	主要概念を理解しているが、詳細な説明や応用面で不十分である。	自然科学の原理、地球システム、内部構造、大気・気候の基本概念の理解が不十分で、説明に大きな困難がある。
現象の分析力向上：物質循環、生態系、生物多様性、人口動態などを論理的に分析できる。	各現象の背景と相互関係を詳細に解析し、複雑な問題も論理的にアプローチできる。	主要な現象の要点を把握し、基本的な論理展開で分析できるが、細部の説明にやや不十分な点がある。	現象の基本的要素を理解し、単純な論理分析は行えるが、応用的な解析には課題がある。	一部の現象の理解はあるが、論理的な分析過程や結果の説明に不備がある。	現象の背景や要素の把握が不十分で、論理的な分析ができず、複雑な問題の理解が困難。
環境問題の理解：資源・エネルギー問題、大気異変、水質・土壌汚染、食品環境など多角的な課題を把握できる。	各課題の原因・影響を詳細に説明し、相互関係や対策を論理的に統合できる。	主要な環境問題を正確に把握し、具体例を交えて説明できるが、細部の統合には一部課題がある。	各問題の要点を理解し、個別に説明はできるが、相互関係の分析にはやや不十分。	基本的な環境問題は理解しているが、全体像や関連性の把握が断片的である。	環境問題の各課題の内容や影響を十分に把握できず、説明・分析に大きな困難がある。
影響評価と考察力：化学物質、プラスチック利用、廃棄物・リサイクル、経済と環境の相互関係を評価し考察できる。	各分野の影響を詳細に評価し、データや事例を用いて相互関係を論理的に統合・考察できる。	主要な影響要因を正確に評価し、基本的な相互関連性を説明できるが、一部細部の統合に課題がある。	各要素の基本的影響評価ができ、単純な考察は行えるが、複雑な相互作用の分析について不十分な点がある。	一部の要因については評価・考察できるが、全体像の把握や論理的統合に不足がある。	各分野の影響評価や相互関係の考察が困難で、基本的な理解に留まっている。
統合的議論力：各テーマの知識を総合し、統合討論を通して持続可能な解決策を提案できる。	各テーマの知識を深く統合し、論理的かつ説得力のある議論を展開。持続可能な解決策を創造的に提案できる。	主要テーマの知識を統合し、整然とした議論が可能。基本的な持続可能な解決策を提案できる。	各テーマの知識を整理し議論に参加できるが、統合的視点や具体的な提案は限定的。	テーマごとの知識理解はあるが、全体を統合した議論や解決策の提案に問題がある。	個別の知識が散在し、統合的な議論に参加できず、持続可能な解決策の提案が困難である。